

# 獅子将棋

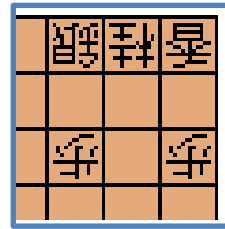
考案者: 高城亜樹様  
開発協力: あんちっく将棋部

中将棋の獅子のように、本将棋の全ての駒が2回移動できる変則将棋です！  
ただし、中将棋の獅子の特別ルールも全て適用されます！

## <獅子将棋のルール>

全ての駒は2回移動できますが、以下のルールがあります。

- A: 1回目の移動は自由に移動できます。  
(なお、1回目の移動終了後に成る事も可能です。)  
(2回移動せずに、1回移動で終了する事もできます。)
- B: 2回目の移動で敵駒を取った駒は、  
2回目の移動終了時に、敵駒の利きを受けてはいけません。  
(つまり2回目の移動では、ひものついている敵駒は取れません。)  
(注: 敵駒の利きにはルールBは適用されません。  
単純に敵駒が2回移動できる範囲全てが利きとして扱われます。)
- C: 1回目の移動で歩兵以外の駒を取った場合は、  
ルールBを無視できます。  
(つまり2回目の移動で自由に敵駒を取る事ができます。)  
(ちなみに「と金」も「歩兵以外の駒」として扱われます。)
- D: 獅子将棋では桂馬は八方桂となります。  
(面白くするための工夫です♪)  
なお、八方桂が成った場合は、八方桂+金将の動きとします。



【ルールB説明図】  
例えば獅子将棋では、  
銀は2回移動できるので、  
上図の銀以外の全ての駒は、  
銀のひもがついています。

## <中将棋の獅子の特別ルールとの対比>

- 隣接する獅子は自由に取れる→A
- 足のある獅子は獅子で取れない、獅子かげの足→B
- 付け喰い→C
- 先獅子→先獅子は獅子どうしでは適用されません。  
獅子将棋の全ての駒は獅子として扱われるので、先獅子は適用されません。
- 居喰い→可能です♪飛車・角行では長距離の居喰いが可能です！

## <考案者コメント>

中将棋の獅子の恐ろしさを体験できればいいと思いこれを考案しました。  
実は、飛車・角行が2回動けるものは大将棋以降の大型将棋にあるのですが、  
そちらでも玉将から極端に離れたところから詰ませることができるようなので、  
ここでもそうなることがあると思いました。  
今までの定石は通用しません。  
あんちっくさんとボード対局したのですが、  
2回移動可能にすると飛車・角行だと狭いのかも知れませんね。  
ほかの駒でも、足がつきやすいので、動きにくかったです。  
飛車・角行・玉将各2回移動可能なもの(玉将2回は獅子ですね)が  
登場するのは今よりも大きい盤なので、  
そちらだとこれより展開しにくくなって、  
やりやすくなるのかも知れませんね。  
あんちっくさんと自分では棋力に差があるので、大差がつかいましたが、  
同じぐらいの棋力なら白熱すると思います。  
また、ボード対局では時間がかかったので、  
オンライン上でできそうなところの紹介をいただければありがたいです。  
面白いと思うので是非やってみてください。

## <変則将棋棋士あんちっくコメント>

飛車・角行が2回動けるものとは、鉤行・天狗ですね♪  
また「ボード対局」とは、ネット上の掲示板にて行う対局であり、  
具体的には「将棋チェスネット」の「フェアリー対局」の掲示板をお借りしました♪  
中将棋の獅子の特別ルールは、少し複雑なので、  
簡略化されるケースが多いのですが、  
「獅子将棋」では、あえてそこをピックアップしたのが面白いと感じました♪  
なお、ルールBがあるので一方的な展開にはならないですが、  
超攻撃的な将棋ではあるので、お互い攻め合うような展開になります♪  
ちなみに、先手が飛車先の歩を突いて急戦する場合、  
後手は△5五馬を中央に作る形で対抗すると良いと思われます♪